

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1288 号	氏名	福嶋 翔
学位審査委員	主査	中尾 一彦	
	副査	上谷 雅孝	
	副査	篠原 一之	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究はアルコール使用障害 (Alcohol use disorder :AUD) 患者における飲酒行動画像に対する脳の活性化(BOLD)反応について検討しており、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 AUD 患者 24 人ならびに健常者 15 人を対象に 4 つの刺激画像 (日本酒、ジュースの静置画像、日本酒、ジュースを飲む画像) を提示し、MRI を用いて全脳の BOLD 反応を測定、統計学的解析を行っており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 AUD 群は健常群に比較して、ジュースを飲んでいる画像に対する BOLD 反応が左楔前部、左後帯状皮質で有意に低く、日本酒を飲んでいる画像に対する BOLD 反応が左後帯状皮質で有意に高かった。これらの反応は画像刺激終了後も遷延した。一方、日本酒の静置画像に対する反応は、両群で差異を認めなかった。 アルコールならびにジュースを飲用する刺激画像に対する脳の活性化反応が AUD 患者と健常者で異なることを証明した本研究の意義は大きいと考える。</p> <p>以上のように本論文は、アルコール使用障害の病態研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			